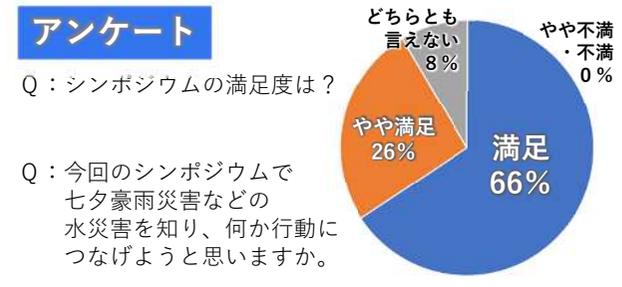


- 昭和49年7月の七夕豪雨災害から50年の節目となる機会に、流域治水シンポジウムを開催しました。
- 小和田哲男静岡大学名誉教授、気象予報士の伊藤麻衣氏による基調講演
- 静岡県から「七夕豪雨災害の記憶とその後の河川行政の取組」、「これからの水災害対策について」を発表し、流域のあらゆる関係者による「流域治水」の推進と「水災害の自分事化」を図りました。



回答数	選択回答
27	自分が住む場所にどのような水災害リスクがあるか確認する。
25	ハザードマップで避難先、避難経路を確認する。
17	防災グッズや備蓄材を充実させる。
5	地域の避難訓練に参加する。
1	水災害リスクのない場所への移転を検討する。
1	自宅に雨水貯留タンクを設置する。
1	特に何もしない。
1	その他